

## あっきな<sup>たこ</sup>凧 上がるかな



中池公園の芝生広場で2月14日、第20回関市凧あげ会が開催されました。当日は天気にも恵まれ、会場には約500人の参加者が思い思いの手作り凧を持ち寄って、風向きを読んで凧を上げていました。

20枚以上連なる連凧や、大人の身長2倍ある大凧などが上がるたびに、周囲からは歓声が起こりました。上手に凧が上がらない子には、凧の会の会員が親切にお手伝いをしました。

# あんな事、こんな事



## 馬の背にトラが！？

新長谷寺（吉田観音）で2月18日、お寺の本尊である観世音菩薩の命日にちなんで行われる観音供養「初観音」が開催され、今年の干支であるトラをかたどった「わら飾り」を背に乗せた4頭の飾り馬が、本町通り商店街からお寺まで練り歩きました。参道には露店が並び、境内では大勢の人が飾り馬の周りに群がってにぎわっていました。

## 地域で守る 豊かな川

2月11日、全国豊かな海づくり大会への市民参加として、倉知の津保川河川敷で清掃ボランティア活動が行われました。この活動は、下倉知自治会の呼びかけで行われ、同自治会・子ども会や、地元企業の従業員など75人が参加しました。参加者は雨の中、1時間ほどかけて、下倉知橋下流の河川敷に散らばっていたごみを拾い集め、大会の成功を願って汗を流しました。





## 大人顔負けの研究作品

岐阜県主催の「こども環境博士コンクール」で、子ども環境博士に認定された富岡小学校の塚原淳之介君(5年)と日置南智君(2年)、子どもの文化・教育研究所主催の「第27回全国小・中学生作品コンクール」にて理科部門で文部科学大臣奨励賞を受賞した遠藤美帆さん(4年)と生活科部門で文部科学大臣奨励賞を受賞した佐藤凜君(2年)、生活科部門で優秀賞を受賞した吉田あやさん(2年)が、市長に喜びを語りました。

## 感謝の気持ちをボールに込めて

小金田中学校生徒会が2月22日、職場体験や保育実習でお世話になっている小金田保育園にボールを10個寄贈しました。このボールは、同校生徒会が地域活動として昨年度から行っているアルミ缶と牛乳パックの回収で得た2年間の収益金で購入したものです。生徒会執行部5人が小金田保育園を訪ね、真新しいボールを手渡された園児たちはとても喜んでいました。



## インディアカで国際交流

関市国際交流協会主催の「スポーツ交流会&もちつき大会」がわかくさ・プラザで開催され、市内在住の外国人や、関青年会議所の会員など約90人が参加しました。関市インディアカ協会の皆さんの指導により、インディアカで楽しく汗を流した後、もちつきを体験し、同協会ボランティア委員会の皆さんの手作りおはぎなどをおいしくいただきました。

## 市長に一句

東京都渋谷区のNHKホールにて行われた平成21年度NHK全国俳句大会で、松浜保育園の年長園児16人が入賞し、その喜びを市長に報告しました。園児たちは、それぞれが詠んだ句を書いた色紙を持って、1人ずつ大きな声で市長に披露。同園では、週1回ほどの俳句指導の時間を設け、園児たちの言葉への関心を高める教育に力を入れています。



## こぼれ話



最近、省エネ、温暖化防止というキーワードとともにLEDという言葉が耳にすることがあります。身の回りでLED製品を探してみると、信号機、自動車のブレーキランプ、自転車のライトや懐中電灯などがあります。ところでLEDって何でしょう?発光ダイオード・・・半導体の一種で、電気を流すと光を放つもの(らしいです)。取材に伺ったある小学校での地球温暖化防止の授業では、同じくらいの明るさになるLED、白

熱電球、蛍光灯に手回し発電機をつないでそれぞれの点灯具合を比較し、LEDが一番少ない力(電力)で点灯する実験を行っていました。このLEDの省電力の特性を生かし、市役所では地球温暖化防止の取り組みの一環として通路やトイレなどの照明の一部がLEDに変わりました。LEDの光は蛍光灯とは少し違った特性があるようで、蛍光灯がやんわりと広範囲を照らし、LEDは照射先を中心にやや強めの光で照らすような印象を受けました。ご興味のある方は一度ご覧になってみてください。